

調査報道セミナー

メディアの
信頼回復が急務である。
そのカギを握る「調査報道」を
どう実践していくか。現場経験が豊
かな新聞人、テレビ人を招き、方法論や
考え方などをじっくり聞く。セミナーは
今後も定期に開催し、取材や報道に関
する具体的ノウハウや視点、問題点
などを広く報道界全体、市民社会
全体に還元したい。

【第1部：調査報道のテーマを どう見つけるか】

曾根英二氏（阪南大学教授、元山陽放送記者）
全国最悪の産廃投棄の島といわれた香川県豊島を
継続報道。貧困、過疎などをテーマに精力的に
番組を制作。著書に「限界集落」など。

萩原 豊氏（TBS報道局社会部デスク）
「報道特集」でドキュメンタリー制作に携わる。
「筑紫哲也NEWS23」を担当。「ヒロシマ～
あの時原爆投下は止められた」の取材・総合演出。

第1部 進行
岩崎貞明氏
(メディア総合研究所)

第2部 進行
高田昌幸氏
(ジャーナリスト)

【第2部：警察権力への迫り方】

梶山 天氏（朝日新聞特別報道部長代理）
鹿児島県警による県議選公選法違反事件が冤罪で
あることを見抜きキャンペーンを展開。著書に
『「違法」捜査～志布志事件『でっち上げ』の真実』

石丸 整氏（毎日新聞さいたま支局事件担当デスク）
飼手 勇介氏（同県警担当キャップ）
昨年の統一地方選・埼玉県深谷市議選で20数人を
接待したとして、市議らが逮捕された。ところが、接待
された側の住民で毎日新聞の取材に応じた20人全員
が接待を否定、埼玉県警が取り調べの際、虚偽の証言を
強要していたことを明らかにした。一連の報道で取材班
は、昨年の新聞労連ジャーナリスト大賞の優秀賞を受賞
した。石丸氏は1972年佐賀県生まれ。奈良新聞社勤務
サンデー毎日契約記者を経て2001年毎日新聞入社
社会部警視庁担当、遊軍、国税担当などを経て現職。
飼手氏は1980年生まれ。福岡市出身。2007年入社
さいたま支局配属。

● 3月3日(土) 午後1時半～6時

定員：60人(予約不要・当日先着順) 資料代：1,000円

● 場所：岩波セミナールーム

東京都千代田区神田神保町2-3 岩波アネックスビル3階
(1階は岩波ブックセンター) 地下鉄・神保町駅A6出口1分

主催：調査報道セミナー実行委員会

後援：日本ジャーナリスト会議 アジア記者クラブ
平和・協同ジャーナリスト基金

